

第1回島田市の花・木・鳥制定委員会 要約会議録

- 1 開催日時 平成26年1月16日(木) 午後7時開会
- 2 場 所 島田市役所 会議棟C会議室
- 3 出席者
委員 天野成子委員、伊藤健太郎委員、大須賀隆委員、河村多喜雄委員、菅功委員、鈴木善彦委員、鈴木りゑ委員、中屋通委員、藪崎公士委員、横山富枝委員
島田市 染谷市長、
石間企画部長、濱田秘書課長、大石秘書課長補佐
- 4 内 容 島田市の花・木・鳥制定委員会
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 市長挨拶
 - 4 委員自己紹介
 - 5 議事
 - ・これまでの経緯、県内の状況等について
 - ・検討の進め方について
 - ・会議の公開について
 - 6 その他
 - 7 閉会
- 5 会議の経過の概要
 - (1) 委嘱状交付
市長から各委員へ委嘱状を交付
 - (2) 市長挨拶
 - 委員を快くお引き受けいただいたことについて、心から感謝申し上げたい。
 - 市の花・木・鳥は平成17年の旧金谷町との合併以来現在まで未制定となっているが、それらは市のシンボルであり、本来は速やかに制定すべきものだった。しかし、その後の川根町との合併や新市誕生10周年を記念としてそれらを制定したいという考えもあり、これまで未制定となっていた。
 - 私としては、市の花・木・鳥は市のイメージの発信、市民の郷土愛の高揚、市

の一体感の醸成に繋がることから、新市誕生 10 周年に捉われることなく、1 日も早く制定していきたい。

- この委員会では、花・木・鳥それぞれの候補だけでなく、制定の方法から時期までを検討していただきたい。
- 皆さまにおかれては、それぞれの立場や分野で活躍している経験に基づき、忌憚のない意見をしっかりと交わしていただきたい。
- 委員の皆さまの力を借りて、島田市のイメージに相応しく、市民から末永く愛され、親しまれる花・木・鳥を制定していきたい。

(3) 委員自己紹介

天野委員：市の文化協会の会長を務めさせてもらっている。花、木、鳥は全てが大好き。山の会にも入って、日ごろからそれらには親しんでいる。大好きなものに携われ、とても嬉しい。皆さんと一緒に良いものを決めていきたい。

伊藤委員：仕事は造園業。商工会議所の青年部にも参加しており、日ごろから若い人たちで集まって島田を良くしたいと思っている。今回、機会があって応募させてもらった。委員の役割として、決めたら終わりではなく、それを発信していくことが大事。フェイスブック等を活用して発信していきたい。

大須賀委員：自治会長連合会から選出され、参加させてもらっている。島田市は合併後間もない頃から比較すると一体感が出てきたように感じている。近所に「はなみずき通り」があるが、ハナミズキという木が大好き。皆さんの意見を聞きながら、決めていきたい。

河村委員：同じく自治会長連合会から選出され、参加している。40 年間位、園芸をやっていた。毎年 30 万～40 万鉢位を作っていたが、今はやっていない。その内 600～700 鉢位がツバキ。

菅 委員：以前勤務していた会社では山の管理をやっていた。主にスギ、ヒノキの育成管理を行っていた。最初は鳥が好きで、鳥が生殖できる場所で仕事をしたいと思ったのがきっかけ。今は樹木医を初めとして、森林インストラクターもやっている。この地区には代表的な木がないように思う。知識はあるがまとめるのが難しいと感じている。

鈴木善彦委員：静岡文芸大で理事をしている。この委員をお願いされてから、身近な景色に注意を払うようになった。この地にはたくさん花や木が生え、鳥が飛んでいることを改めて知った。この仕事は故郷の景色に対する見方を変える役目があると思う。是非、これらを制定することを通して、子供から大人までそうした見方をしてくれるきっかけになればと思う。

- 鈴木りゑ委員：島田市花の会で50年やらせてもらっているが、会員が年々減っている。子供会を巻き込んでやっていきたい。制定を通じて、子供たちに感動を与えることをしていきたい。
- 中屋委員：自治会長連合会から選出され、参加している。大井川の上流の空気のきれいな所に住んでいるが、周りには広葉樹が多く生えている。森林管理事務所に1ヶ月に1度行っている。皆さんの意見を聞きながら、決めていければと思う。
- 藪崎委員：静岡県野鳥保護会で理事をしている。バードウォッチングが好きで、それがきっかけとなり環境問題や情操教育にも興味を持つようになった。大津小のバードウォッチングでは、もう何年も子供と触れ合っている。今の子供たちは本物を知らない。写真やテレビで見るだけでなく、本物を見せて触って欲しい。本物を子供に体験させたい。
- 横山委員：花が好きで、島田市のバラの会に入会している。この委員会では、皆さんの意見を聞きながら花、木、鳥について勉強していきたい。

(4) 委員長・副委員長選出

- ・ 互選により、決定
- ・ 委員長 鈴木善彦委員 副委員長 菅功委員

(5) これまでの経緯、県内の状況等について

- ・ 事務局から資料に沿って説明

(事務局)

- 旧島田市では、花がバラとドウダンツツジ、木がギンモクセイ、鳥がオオルリ、旧金谷町では、花がツツジ、木が茶、旧川根町では花がサクラ、木はスギだった。
- 合併協議では、新市において新たに制定するとしていた。
- 県内で未制定は島田市だけ。変わった所では、富士宮市で「魚」、磐田市で「昆虫」を定めている。
- 最近では袋井市が平成22年に、磐田市が平成21年に、牧之原市が平成19年に制定している。

<主な意見等>

(委員)

- 若い人に意見を聞くことは必要。例えば小中学校等へアンケートを取る等したらどうか。
- 何らかの形で市民の声を聞いていくようにした方が良い。
- 合併前の地区に捉われることなく、島田を一つにする象徴にして欲しい。

- 必ずしも市内に多くあったり、所縁のあるものでなくても良いのではないか。これから島田のイメージを作っていくと考えれば、全く別のものでも良いのではないか。
- 最近是小鳥が少なくなっている。この地域に住み着いている鳥を選定していったらどうか。「カラス」はともかく「オオルリ」「サンコウチョウ」「アカシヨウビン」などがいるが、オオルリは渡り鳥で4月から9月の半年しかいない。
- 「ドウダンツツジ」は、赤く紅葉して大変きれいで、群生地もある。
- 「バラ」は島田市歌の3番に歌詞があり、全国バラサミットも予定されているが、栽培者が減っている。桜も捨てがたい。
- 島田市にたくさん栽培されている「ガーベラ」などあり、皆が目にするものが多い。
- 島田、金谷、川根地区のものをそれぞれ入れていくよりも、島田市は一つになったのだから地区に拘る必要はない。

(6) 検討の進め方について

- ・ 花、木、鳥は、3つ同時でなく、ひとつひとつ単独に検討をしていく。
- ・ 魚や昆虫も制定している市もあるが、今回は花、木、鳥だけとする。
- ・ 候補は、事務局が出すのではなく、この委員会で検討していく。事務局からは資料を提出してもらおう。
- ・ 花、木、鳥はそれぞれ複数になっても良い。
- ・ 市民の声を反映するため、子供たちの意見を聴くこととする。

<主な意見等>

(委員)

- 磐田市の桶沼にいるベッコウトンボや富士宮市のニジマスは地区を象徴する特別なもの。島田市にはそこまでのものはない。
- 花と木の区別は付けにくい。例えばサクラなどは木に咲く花だが、その場合の扱いは「花」か「木」どちらになるのか。
- 香川県では花も木も「オリーブ」だった。特に拘らなくても良いのではないか。
- 市民の意見は出来る限り尊重する方が良い。

(7) 会議の公開について

- ・ 会議録は、市のホームページに概要匿名で公開していく。
- ・ 公開する前に全委員に内容のチェックをお願いしていく。
- ・ 「広報しまだ」でも随時、検討状況等をお知らせしていく。
- ・ 会議は原則公開なので、次回以降は傍聴者も受入れていく。

<主な意見等>

(委 員)

- 発言に責任を持たせるために、発言者の氏名も公表した方が良い。
- 発言者の氏名を公表すると、市全体を考えた意見を言った場合、地元の人たちに受け入れられないことがあるのではないかと。
- 忌憚のない意見を出してもらうために、氏名は公表しない方が良い。
- 議論をフランクにして、本音で発言してもらうためには、氏名を公表するのはどうだろうか。

(8) スケジュールについて

- ・ 次回は、3月7日(金)午後7時から開催する。通知は後日、委員の皆さまに改めて送付する。

(9) 午後8時35分閉会